

第3期計画で設定した数値目標に対する評価

数値目標の達成状況について、以下により4段階評価を実施
 ※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したのもあるため、
 下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準		件数	構成比
A+	第3期計画の 取り組み開始	・目標を達成したもの → 目標の達成率（または達成見込率） が100%以上	19件	35.8%
A	時と比べて、 数値を改善	・目標をほぼ達成したもの → 達成率（または達成見込率）が 60%以上100%未満	10件	18.9%
A-	もしくは維持で きたもの	・目標の達成に向けて十分な進展が見られな かったもの → 達成率（または達成見込率）が 60%未満	15件	28.3%
B	第3期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持 できなかったもの		9件	17.0%
評価計			53件	100%
—	実績値がまだ出ていないなどの理由で現時点の評価ができないもの、 または目標の設定がないもの		4件	

主な支援策の活用状況
 (①②④:H28~H30 ③:H28~H29)

① 産業振興推進総合支援事業費補助金	3事業	21,987千円
② 観光拠点等整備事業費補助金	20事業	58,549千円
③ 歴史観光資源等強化事業費補助金	7事業	658,615千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	31件	103回



○(株)足摺農園加工処理施設
 H30.5稼働開始
 地域AP No.3
 H29年度産振補助金



○しまんと百笑かんぱに(株)加工保管施設
 H30.4稼働開始
 地域AP No.25
 H29年度産振補助金

課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
No.18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト	3つの施設（冷凍保管、共同加工、残渣加工）の整備は順調に進捗しており、今後は、節加工事業者による施設の利用促進を図ることと運営を担う土佐清水HDの体制強化が必要である。 また、土佐清水HDの経営安定に向けて、宗田節を全国的にプロモーションしていく戦略商品「スーパロス」を大量生産していくための、生産体制の確立が必要である。	◎3つの新施設の利用促進を図ること及び施設運営を担う土佐清水HDの体制強化に向けて取り組む。 ・施設利用促進に向けた、節加工事業者、土佐清水HDなど関係者間の協議の継続的実施 ・土佐清水HDの組織再編 ◎スーパロスの製造ラインの整備と、販売促進等の取り組みの推進 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製造ラインの整備 ・エンドユーザーに向けたプロモーション及び販路開拓
No.23 四万十牛の生産・販売拡大事業、No.24 売れ出し西土佐プロジェクト推進事業（拠点ビジネス）	しまんとリバーベキュープロジェクトの推進による、西土佐地域を中心としたバーベキューの聖地化やオートキャンプ場の整備は地域の活性化に不可欠である。 地域の事業者が中心となって組織された西土佐地域産業振興推進協議会を中心に、各事業者間における連携の体制づくりをはじめ、地域への収益につながる仕組み、効果的な情報発信等を具体化し、実行していく。	◎道の駅を中心に、食べる（道の駅よって西土佐や四万十牛本舗）、遊ぶ（カヌー等アクティビティ）、泊まる（カヌー館のオートキャンプ場、ホテル星羅四万十）が運動した取り組みを進めていく。 ・道の駅の土産物、テイクアウト商品、飲食メニューの充実 ・カヌー館のオートキャンプ場整備及びバーベキュー販売の仕組みづくり ・ホテルの地域ならではの宿泊プランの造成 ・四万十牛の新たな加工販売施設の整備
No.29 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業	拠点施設の整備計画及び拠点施設を核とする中心商店街活性化計画のマスタープランが策定された。 今後は、スケジュールに沿って拠点施設の整備を進めるとともに、施設に人を呼び込むための戦略や運営方法、中心商店街への周遊を促進する具体的な仕組みづくりを段階的に進めていく。	◎拠点施設に人を呼び込み、中心商店街に周遊を促進する具体的な仕組みづくり、官民一体で推進していく。 ・地域経済活性化拠点施設整備等補助金を活用した拠点施設の整備 ・拠点施設で展開する地域食材を活用したメニューづくり、地域ならではの魅力あるテナントの誘致、集客を図るイベント等実施計画づくり ・拠点施設のオープンに向けたプロモーションの展開 ・四万十市中心商店街活性化協議会を中心として、中心商店街の周遊を促進する事業プランの具体化と実施
No.37 幡多広域における滞在型・体験観光推進プロジェクト	幡多地域への入込客数は、ここ数年横ばいで推移している。 土佐の観光創生塾の受講等によって、幡多広域観光振興計画に基づき、一般旅行・教育旅行・スポーツツーリズム・インバウンドの戦略ごとに質の高い体験観光商品の造成や販売に取り組むとともに、ホームページ等を活用した情報発信を充実・強化することにより、幡多広域全体への誘客促進を図り、交流人口の拡大を目指す。	◎市町村や観光団体の連携のもと、地域の魅力を活かした旅行商品や体験メニューづくり、旅行会社等へのプロモーション、海外からのインバウンド誘致等の取り組みを展開する。 ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドや柏島観光情報発信センター、今後開業を予定している新足摺海洋館、竜串ビジターセンターを核として、地域の事業者が連携した周遊の仕組みづくり ・日本版DMO（地域連携）法人への登録のメリットを生かした観光地づくり
No.40 竜串地域観光再生プロジェクト、No.42 土佐清水ジオパーク推進事業	竜串地区の3つの新施設（スノーピーク土佐清水キャンプフィールド、竜串ビジターセンター、新足摺海洋館SATOUMI）の整備に併せて、周辺アクティビティへの誘導、周辺施設の飲食メニューや土産物の充実等により、地域での周遊を促進する取り組みが必要。 また、日本ジオパークネットワーク加盟（R2年申請予定）に向け、加盟認定の際に課題となっているジオツーリズムの推進などに対応していくことが必要である。	◎竜串地区の3つの新施設を核に、地域の事業者やガイド等が主体となって、収益につながる観光事業を展開し、地域活性化にむずびつける。 併せて日本ジオパークネットワーク加盟認定に向け取り組む。 ・竜串海洋観光クラスター推進協議会で実施する4つのモデルプロジェクト（①限定グッズ制作、②観光客満足度向上、③周遊イベント開催、④海のギャラリーの活用）の推進 ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドを核とした地元食材の活用及び周辺アクティビティへの誘導 ・新足摺海洋館「SATOUMI」を中心とした周遊プラン造成に向けたモニターツアーの実施 ・竜串ビジターセンターを中心とするジオツアー商品造成に向けたモニターツアーの実施